

静岡

静岡市歴史博物館がプレオープン

静岡市に、歴史探求と体験、交流を融合した新たなスタイルの歴史博物館が誕生しました。2022年7月23日にプレオープンし、先行して1階無料エリアが公開されています。

静岡市歴史博物館は、「歴史文化から静岡の未来をつくる」をコンセプトに、静岡の過去を学び、今を知ることのできる未来をそれぞれが考えていく場として、駿府城三ノ丸エリアに建設されました。国際的に活躍し、先日第33回高松宮殿下記念世界文化賞を受賞された建築家ユニット「SANAA」の妹島和世氏、西沢立衛氏による設計で、外観のエキスパンドメタルをはじめ、細部にまで工夫がこらされています。駿府城大手御門から二ノ丸堀に続く雁行動線を建物の内部まで立体的に延長し、町並みと建物が一体となることで、町並みから建物まで伸びる『人の道』を形作り、漆喰調塗装の外観、1階周りの木製建具、ひさしや下屋などにより、歴史的景観との調和を図り、「過去と今をつなぎ、未来をつくる」という博物館の理念を表現しています。

博物館の1階は、建築前の調査で見つかった33メートルにわたる「戦国時代末期の道と石垣の遺構」を建物内に取り込み、徳川家康の城主時代と重なる天正期の城下の息吹を間近に感じていただけます。毎週土日祝日には多彩なイベントを実施しており、歴史や文化にちなんだミニ工作や手軽に体験できる自由参加型ワークショップ、歴史や地域のトピックをユニークな視点で取り上げるわかりやすい歴史・地域のおはなしや学芸員によるマニアックトークなど、子どもから大人まで楽しんでいただけるプログラムが盛りだくさんです。

プレオープンから1ヵ月で、一万人を超える来館者を迎えました。グランドオープンを心待ちにする声も沢山寄せられています。

10月からは、歴史・地域探訪の拠点として、博物館からまちをめぐる、歴史をたどる「しずれきガイドツアー」もスタートしました。その他、市内で行われる旬のイベントや見所をご案内する歴史観光コンシェルジュの配置、市民や研究者の研究

活動の拠点となる家康公研究室の運用も開始されます。子ども向けの歴史入門図書をそろえた図書コーナー、学びながら来館者との交流を楽しんでいただけるボランティア活動についても運用に向けて準備が進められています。

2023年1月13日のグランドオープンから公開する、2・3階の展示室(有料エリア)では、静岡で人生の三分の一を過ごした徳川家康の人生とその魅力を紹介するほか、若き家康を育てた戦国大名今川氏の活躍についても取り上げ展示されます。年に数回の企画展も予定しており、浅間神社や駿府城などにスポットを当てた特別な展示を行います。建物から円形に突き出した特徴的な展望ラウンジは、駿府城東御門・異櫓や富士山を望むビューポイントで、みどころのひとつです。今後、1階にはミュージアムショップ・カフェもオープンが予定されているほか、縁側をイメージした屋外スペースを活用し、地域の産業や文化を紹介する「にぎわい広場」も不定期ですが開催が予定されています。観光の拠点としても動き始めた静岡市歴史博物館から、ぜひ、歴史探求や静岡観光をスタートしませんか。



静岡市歴史博物館 静岡市葵区追手町4番16号

TEL 054-204-1005 FAX 054-204-7373 <https://scmh.jp>

月曜休館(祝日の場合は開館、翌平日休館) 開館時間 9:00~18:00